

# 千葉県アレルギー疾患対策推進計画の 進捗状況について

令和6年10月22日（火）

令和6年度千葉県アレルギー疾患医療連絡協議会

# 千葉県アレルギー疾患対策推進計画について

## 【背景】

- ・乳幼児から高齢者まで**国民の約2人に1人がアレルギー疾患に罹患**しているとされ、患者数は近年増加傾向。
- ・アレルギー疾患には、急激な症状の悪化を繰り返したり、重症化に至るものがあり、職場、学校等のあらゆる場面で**日常生活に多大な影響を及ぼしている**。
- ◇**アレルギー疾患対策基本法**（平成27年12月施行）
- ◇**アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針**（平成29年3月告示）  
※5年ごとに見直し…令和4年3月告示

## 【千葉県計画】

- ・アレルギー疾患対策基本法 第13条に基づき策定。
- ・計画期間2019年4月から2024年3月までの5年間  
2024年4月から2028年3月までの5年間（令和6年3月改定）

# 現行の数値目標

## 1 アレルギー疾患に関する知識の普及、アレルギー疾患の発症・重症化予防

項目	現計画策定時の状況	目標値
千葉県アレルギー相談センターホームページのアクセス件数	18,733件 (2022年度)	増加 (2028年度)
アレルギー疾患を有する者やその家族等を対象とする研修会参加者の理解度	98% (2022年度)	90%以上 (2028年度)
受動喫煙の機会を有する者の割合の減少	行政機関：2.1% 医療機関：3.7% 職場：19.5% 家庭：5.0% 飲食店：16.0% (2021年度)	望まない受動喫煙のない社会の実現 (2028年度)

## 2 アレルギー疾患医療提供体制の確保

項目	現計画策定時の状況	目標値
「アレルギー疾患医療拠点病院」の整備	1か所 (2022年度)	維持 (2028年度)
病院・診療所を対象としたアレルギー疾患に関する講習会への参加機関数	71医療機関/年度 (2022年度)	毎年度 100医療機関以上 (2028年度)

## 3 アレルギー疾患を有する者・家族の生活の質の維持向上

項目	現計画策定時の状況 (2022年度)	目標値 (2028年度)
拠点病院が行う人材育成		
アレルギー疾患に関する相談等に携わる職種への研修会等の取組	取組数 4/年度	取組数 4以上/年度
教育・保育施設、学校、社会福祉施設等へのアレルギー疾患対策に係る研修会等の取組	取組数 5/年度	取組数 5以上/年度
学校給食における食物アレルギー対応		
提出された学校生活管理指導表に基づく個別の取組プランの作成状況	85.5% (2021年度)	100% (2028年度)
緊急時対応マニュアルの整備状況	98.9% (2021年度)	100% (2028年度)
緊急時の対応について演習等を含む実践的な訓練の実施状況（学校に「エピペン®」を処方されている児童生徒がいる場合は、「エピペン®」の取扱いを含む）	78.9% (2021年度)	100% (2028年度)

## 4 アレルギー疾患に係る調査・分析、研究等の成果を活用したアレルギー疾患施策の推進

項目	現計画策定時の状況 (2022年度)	目標値 (2028年度)
アレルギー疾患の実情や対策に係る調査の取組	2件/年度 (2022年度)	2件/年度

# 数値目標の詳細

\* 現状値については改定前の計画に基づく実績となるため参考値

\*\* 改定前の目標は達成

## 1 アレルギー疾患に関する知識の普及、アレルギー疾患の発症・重症化予防

項目	現計画策定時の状況	直近の状況	目標
千葉県アレルギー相談センターホームページのアクセス件数	18,733件 (2022年度)	21,025件 (2023年度)	増加 (2028年度)
アレルギー疾患を有する者やその家族等を対象とする研修会参加者の理解度	98% (2022年度)	2022年度：98.0% 2023年度：98.1%	90%以上 (2028年度)
受動喫煙の機会を有する者の割合の減少	行政機関：2.1% 医療機関：3.7% 職場：19.5% 家庭：5.0% 飲食店：16.0% (2021年度)	行政機関：2.5%** 医療機関：3.3% 職場：22.4%** 家庭：6.1%** 飲食店：20.4%** (2023年度)	望まない受動喫煙のない社会の実現 (2028年度)

## 2 アレルギー疾患医療提供体制の確保

項目	現計画策定時の状況	直近の状況	目標
「アレルギー疾患医療拠点病院」の整備	1か所 (2022年度)	1か所 (2023年度)	維持 (2028年度)
病院・診療所を対象としたアレルギー疾患に関する講習会への参加機関数	71医療機関/年度 (2022年度)	2019年度：51 2020年度：114 2021年度：100 2022年度：71 2023年度：90	毎年度 100医療機関以上

### 3 アレルギー疾患を有する者・家族の生活の質の維持向上

\* 現状値については改定前の計画に基づく実績となるため参考値

\*\* 改定前の目標は達成

#### (1) 拠点病院が行う人材育成

項目	現計画策定時の状況	直近の状況	目標
アレルギー疾患に関する相談等に携わる職種への研修会開等の取組	取組数 4 /年度 (2022年度)	年 3 回 * * (2023年度)	取組数 4 以上/年度 (2028年度)
教育・保育施設、学校、社会福祉施設等へのアレルギー疾患対策に係る研修会等の取組	取組数 5 /年度 (2022年度)	年 5 回 * * (2023年度)	取組数 5 以上/年度 (2028年度)

#### (2) 学校給食における食物アレルギー対応

項目	現計画策定時の状況	直近の状況	目標
提出された学校生活管理指導表に基づく個別の取組プランの作成状況	85.5% (2021年度)	89.1% (2022年度)	100% (2028年度)
緊急時対応マニュアルの整備状況	98.9% (2021年度)	99.5% (2022年度)	100% (2028年度)
緊急時の対応について演習等を含む実践的な訓練の実施状況 (学校に「エピペン®」を処方されている児童生徒がいる場合は、「エピペン®」の取扱いを含む)	78.9% (2021年度)	86.4% (2022年度)	100% (2028年度)

### 4 アレルギー疾患に係る調査・分析、研究等の成果を活用したアレルギー疾患施策の推進

項目	現計画策定時の状況	直近の状況	目標
アレルギー疾患の実情や対策に係る調査の取組	2 件 /年度 (2022年度)	年 2 回	2 件 /年度 (2028年度)